

令和2年第5回（10月）出雲崎町議会臨時会会議録

議事日程（第1号）

令和2年10月14日（水曜日）午前9時30分開会

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案第72号 令和2年度出雲崎町一般会計補正予算（第8号）について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（10名）

1番	小黒博泰	2番	中川正弘
3番	中野勝正	4番	高橋速円
5番	諸橋和史	6番	加藤修三
7番	三輪正	8番	安達一雄
9番	高桑佳子	10番	仙海直樹

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	小林則幸
副町長	山田正志
教育長	佐藤亨
会計管理者	池田則男
総務課長	河野照郎
保健福祉課長	権田孝夫
こども未来室長	矢川浩之
産業観光課長	大矢正人
建設課長	小崎一博
教育課長	矢島則幸
産業観光課参事	内藤良治
総務課参事	金泉修一
町民課参事	棚橋まゆみ

○職務のため議場に出席した者の職氏名

事務局長	権頭昇
書記	関川理沙

◎開会及び開議の宣告

○議長（仙海直樹） ただいまから令和2年第5回出雲崎町議会臨時会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

（午前 9時30分）

◎議事日程の報告

○議長（仙海直樹） 本日の日程は、議事日程第1号のとおりであります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（仙海直樹） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、6番、加藤修三議員及び7番、三輪正議員を指名します。

◎会期の決定

○議長（仙海直樹） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（仙海直樹） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日1日と決定しました。

◎議案第72号 令和2年度出雲崎町一般会計補正予算（第8号）について

○議長（仙海直樹） 日程第3、議案第72号 令和2年度出雲崎町一般会計補正予算（第8号）についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

町長。

○町長（小林則幸） ただいま上程されました議案第72号につきましてご説明を申し上げます。

このたびの補正予算は、新型コロナウイルス感染症に対応するための経費について計上いたしました。

歳出予算につきましてご説明申し上げますと、1款議会費には、議会中継システム導入に要する経費並びにリモート会議に対応するためのタブレット購入費を計上しております。

2款の総務費には、分散勤務の環境整備を構築するための経費を計上いたしました。

3款の民生費には、保健福祉総合センターの非常用発電設備整備工事費を計上いたしました。

7 款の商工費では、町商工会が行う商工業者の魅力発信事業に対する補助金並びにプレミアム商品券発行事業に要する経費を計上いたしました。

以上の財源には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しております。

これらによりまして、既定の歳入歳出予算額にそれぞれ6,629万7,000円を追加いたしまして、予算総額を40億7,143万4,000円とするものであります。

よろしくご審議を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（仙海直樹） 補足説明がありましたら、これを許します。

総務課長。

○総務課長（河野照郎） 補足説明をさせていただきます。

歳出予算を説明させていただきます。主な事業につきましては補足説明資料を添付してございますので、参考にさせていただければと思います。

それでは、予算書をご覧いただきたいと思います。補正予算書の265ページになります。1 款議会費でございます。議会中継システム導入業務及び議会リモート会議の関係予算となります。内容等につきましては資料の5 ページ、6 ページのほうにございますので、ご確認いただきたいと思えます。

続きまして、2 款総務費でございます。8 目情報管理費、12 節に分散勤務関係の経費を計上しております。今後の新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策といたしまして、役場の業務を分散勤務に対応できる環境整備をするものでございます。役場庁舎の5 つの課の職員の一部を中央公民館の講堂、201 会議室及び3 階図書室において勤務ができる環境整備をする経費であります。庁内 LAN 接続、メール送受信、インターネット通信、総合行政システムネットワークへの接続を可能とする工事を行うものでございます。

続きまして、266 ページお願いいたします。3 款民生費です。6 目保健福祉総合センター管理費に非常用発電設備整備工事費を計上しております。非常時の対応といたしまして、保健センターの和室等について非常用発電設備で給電できるようにするものでございます。資料の7 ページに概要図を添付してございますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、267 ページです。7 款商工費になります。2 目商工業振興費、18 節に商工業者魅力発信事業補助金がございます。商工会が実施します事業者紹介用小冊子を作成する事業等に対する補助金であります。補助率は3 分の2、事業内容は資料8 ページに資料がございますので、よろしくお願いいたします。

次、7 目商品券発行事業費でございます。こちらにつきましては、資料9 ページをご覧いただきたいと思えます。議会資料9 ページ、プレミアム付商品券発行事業の概要を取りまとめたものを添付させていただいております。1 番の事業目的は記載のとおりでございまして、新型コロナウイルス感染症対策の対応といたしまして、プレミアム率100%のプレミアム付商品券を販売するというも

のでございます。

2番の事業内容です。1万円分の商品券、これは500円券の20枚つづりでございます。これを1冊5,000円で町民の皆様に販売するというものでございます。事前に全町民の方に購入引換券を送付して、1人1冊の購入ができるような形で進めたいと思っております。

4番、販売場所でございます。今回は、この3か所で販売することとしております。それぞれ時間、休みの日等をご覧のとおりでございます。販売に当たりましては1冊当たり手数料として100円をお支払いしたいというふうに思っております。

6番のスケジュールです。11月5日に広報で町民の皆様にご案内するとともに、全戸に購入引換券を郵送いたします。14日からプレミアム商品券の販売、併せて同日利用が開始できるようにいたします。12月25日にプレミアム商品券の販売を終了すると。商品券のほうは2月28日まで使用できるということでございます。以上のような内容の関係経費を計上しております。

268ページにお戻りいただけますでしょうか。8款土木費です。1目土木総務費に建設業コロナ感染防止対策物品等購入費補助金を追加しております。現在予算では45人分を見込んでいたところがございますが、要望が多く、さらに41人分を追加し、合計86人分の予算を確保するという内容になってございます。

次に、9款消防費です。4目防災対策費、防災備蓄倉庫撤去料が計上してございます。こちらは、海岸公民館の敷地に平成22年に設置したものでございます。腐食いたしまして使用できない状態になりましたので、このたび撤去するというものでございます。その中に備蓄してございます防災用品は簡易トイレ、救急シート、ポリタンク、土のうなどでございまして、海岸公民館の2階のほうで備蓄をさせていただくこととしたいというふうに思っております。

次、269ページ、10款教育費です。小学校、中学校に新型コロナウイルス感染症対策用の衛生用品を整備する経費を計上させていただきました。

補足説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（仙海直樹） これから質疑を行います。質疑はありますか。

5番、諸橋議員。

○5番（諸橋和史） 266ページ、民生費の6目14節、工事請負費、非常用発電設備整備事業ですけれども、ふれあいの里の図面なども見させてもらい、一応これで35から45キロぐらいの電力ということですが、今この状態だと半分ぐらい、大広間は全く使用できないということになっているんですけれども、その中で、ふれあいの里に避難する総人数というのはどれぐらいのものを想定しておられますか、ちょっとお聞きしたいんですけど。

○議長（仙海直樹） 総務課長。

○総務課長（河野照郎） このたびふれあいの里の避難所につきましては、避難する際にせき、熱等の症状がある方でどうしても避難しなければならない方をこちらのほうに収容するということで

ございます。基本的には、和室が3部屋個室がございますけども、そこに家族単位で入っていただくということと、それを超えた場合においては大広間を間仕切りした中で収容するというところでございます。必要により医療機関につなぐということを考えておりますので、大広間のほうを全体で何家族程度になるかというのはそのときの状況に応じてというふうな形で、間隔を空けた中での収容ということで、通常の収容とは違う形での数値を考えております。具体的な数字につきましては、基本的に個室に1家族程度のイメージをしていただければというふうに思いますので、よろしくお願いたします。

○議長（仙海直樹） 5番、諸橋議員。

○5番（諸橋和史） 今お聞きしたところだと3部屋あるということですけども、そうすると3家族が限度ということですか。今のこれの発電能力からいくと、ホールのほうには電源がなく避難できないというふうになっているんですけども、現状の発電容量の中では3家族程度という考え方でよろしいですか。

○議長（仙海直樹） 総務課長。

○総務課長（河野照郎） 優先的に個室の3部屋を使いまして、それでもまだ収容する必要があるれば、畳の大広間がございますが、そこを間仕切りして使用するというふうに考えてございます。多目的ホールのほうは、症状のある方の収容は現段階では想定しておりません。必要によりまた適宜対応していく必要はあろうかと思いますが、現段階ではそのような考え方でございます。

以上です。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

6番、加藤議員。

○6番（加藤修三） 同質問ですけど、非常用発電設備ということで、これが1,400万円あるんですが、これは非常用ということですけども、あそここのところにそれプラス太陽光発電を整備して、それに蓄電をするという方法と、前回原子力事業所災害対策支援拠点ということで、この中で刈羽がうたっているのは近辺の災害に対しても資材の設備をするということがありますので、この辺から十分借りれるような体制になっているのかというのも必要だと。また、東京電力の広報紙の中でも地域貢献の取組を推進していますという形ですから、これらも十分取り組む考えはないのか。この非常用発電というのは、結局発電回すには燃料が要るわけです。強いて言えば太陽光もプラスして国から予算取れば一番ベストですけども、そういう形で通常時はあそこの中で電気も使えると、非常時についてはそこも使えるということも含めてこれらの十二分な体制を取るという考えはないでしょうか。

○議長（仙海直樹） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（権田孝夫） 太陽光発電を利用するという考えは今のところ考えておりませんでした。その辺近くの東京電力の施設に太陽光発電があるということもありますので、それについては

今後東京電力のほうとまた必要であれば話を進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（仙海直樹） 6番、加藤議員。

○6番（加藤修三） 了解しました。

次の質問になりますが、総務費関係のところ分散勤務ということで、パソコンを5台購入と形ありますが、このパソコンはデスクトップなのか、ノートパソコンなのか。例えばノートパソコンの中でドライブがハードディスクなのか、SSDなのか、この辺についてもお聞かせください。

○議長（仙海直樹） 総務課長。

○総務課長（河野照郎） 266ページのパソコンでございます。こちらは、7台分のパソコンを予定しております。そのうち2台につきましてはLGWANと申しまして、国との専用回線をつないで国とのやり取りができるパソコンが2台、それ以外のものにつきましては分散勤務用で、5課が分かれてそちらのほうに行く予定になっておりますので、そちらに各課に1台程度配置して、それ以外の職員については今役場庁舎で使っているノートパソコンを持って行って作業するという環境の整備を考えております。

パソコンの種類ですが、ハードディスクかSSDかですか。金額からしてこの程度の金額でございますので、通常町で使用しているパソコンと変わりがないパソコンを想定しております。詳しいことは、今手元に資料がないので、申し訳ございません、お答えできません。

○議長（仙海直樹） 6番、加藤議員。

○6番（加藤修三） 全くの提案の一つの要素ですけども、やっぱり今はSSDに替わっているものが多いんです。結局落下や取扱い、環境条件に非常に弱いというのがハードディスクドライブなんです。あと、SSDのほうは集積ですから、ちょっと落下してもその面には強いし、それから情報速度が物すごく速いということですので、どうせ買うのであればその辺も考慮して対応していくのも方法の一つかと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

○議長（仙海直樹） 総務課長。

○総務課長（河野照郎） 申し訳ございません。現在予算で計上させていただくのは、SSD500GBが搭載されたパソコンでございます。今ご指摘のとおりでございます。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

7番、三輪議員。

○7番（三輪 正） 265ページ、総務費の中の情報管理費ですが、分散勤務ネットワークということで、いざというときはやっぱり分散できるということは非常にいいと思うんですが、先ほどふれあいの里で非常電源というふうな話がありましたが、中央公民館にもたしか電源装置はあると思うんですが、その辺をこういういざというときは十分対応できるのかどうかということと、もう一つ、中央公民館はちょうど真ん中で立地的にはいいかと思うのですが、よく携帯の通信が非常によくな

いという話は以前から聞いていまして、私らもなかなかあそこは場所によっては非常に厳しいなということ、その辺の2つあたり聞かせていただきたいと思うんですが。

○議長（仙海直樹） 総務課長。

○総務課長（河野照郎） 万が一停電の場合の対応というふうなご質問かと思います。中央公民館につきましては停電時の発電設備がございますので、燃料を給油すればある程度の時間は対応できるというふうなことでございますし、パソコン自体もそんなに消費量が多くはないものですので、必要最小限の使用量の中で対応していくというふうな形になっているかと思います。

それと、中央公民館の電波状況でございますが、Wi-Fiを館内には整備してございまして、電波状況については業務を行うのに支障がないような形で整備してございますので、電波状況については対応していくことが可能だと思います。

以上でございます。

○議長（仙海直樹） 7番、三輪議員。

○7番（三輪 正） ふだん例えば非常電源等いざというときにはなかなかうまく稼働しなかったとかというようなことで、今まで以上に、今度緊急時と災害のときに使うわけなので、その辺十分また留意して運用していただきたいと思います。

以上です。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

3番、中野議員。

○3番（中野勝正） 267ページの商品券発行事業費の中の資料9ページですけども、確認させていただきたいんですが、資料では1冊当たり手数料100円というふうになっており、1番、2番、3番というふうに関係に手数料を支払うという中で、ホッと情報館陽だまりは産業観光課が所管で対応しているということで、いいんですけども、その中で管理していただいている方が10名ぐらいおられるんですけども、この売上げが1冊当たり手数料100円でやられて、お客さんがいっぱい買っていたということはいいんですけども、売上げがあったから、指定管理料を減額しますよとか、そういうふうになるとやってくれた方の苦勞が報われないかなというふうに思うんですけども、その中で私としてはホッと情報館陽だまりの10名の皆さんで何かしら使っていただけるような方策を考えていただけるかどうかお聞きしたいと思います。

○議長（仙海直樹） 産業観光課長。

○産業観光課長（大矢正人） プレミアム商品券の発行の関係ですけども、手数料を1冊当たり100円お支払いするということにつきましては、現在バスの回数券をそこで販売をしていただいて、手数料をお支払いしていると、それと同じ考え方でお支払いをするということで、金額とかそういうものについては回数券とはちょっと異なりますけども、同じ考え方でやりますので、それと今回の指定管理料の減額というのは全く別物だというふうにご理解いただければと思っております。よろし

くお願いします。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

1番、小黒議員。

○1番（小黒博泰） 今ほど出ましたプレミアム商品券の件ですけども、今までも町からいろいろな商品券が発行されています。その中で町民の方にはいろいろな種類の券があり過ぎて、どこでいつどう使えるのかという方もおられます。今回の商品券を発行するに当たって利用店もまた変わってくるのか、今まで発行した商品券と使える利用店は同じなのか、それとも商店のほうからすれば今まで利用するように町のほうに届けたけど、今回はやめておこうとかというお店屋さんも出てくるのではないかと思うんです。その辺は、今回の商品券に関してまた新規に取扱店を募集するのか、それとも今までと同じ商店で使えるようにするのか、その辺ちょっとお聞かせください。

○議長（仙海直樹） 産業観光課長。

○産業観光課長（大矢正人） プレミアム商品券の取扱店舗の関係ですけども、資料の9ページをご覧いただきたいと思います。そちらの5番のところを利用可能店舗ということで、現在特別商品券を取扱いいただいている店舗、77店舗でお使いいただけるようにということで記載をさせていただいております。

以上です。

○議長（仙海直樹） 1番、小黒議員。

○1番（小黒博泰） そうすると、その辺はまた77店舗、町民の皆さんが理解していればいいんですけども、全部の店にのぼりで商品券使えますよとか何か表示があればここは登録で使えるんだなと思いますけど、その辺はまた別個に利用店等々を回覧ないし個別で配布する予定があるのか、その辺どうでしょう。

○議長（仙海直樹） 産業観光課長。

○産業観光課長（大矢正人） 資料の9ページの6番のスケジュールのところ、11月5日に購入引換券を郵送ということで記載をさせていただいておりますが、その購入引換券を郵送するときに利用可能店舗のリストも併せて前回と同じようにお送りする予定にしておりますので、そこを見ていただいて確認をいただければと思っておりますし、のぼりにつきましては7月のときに皆さんのほうにお配りしておりますが、色あせや傷んだというものについてはまた追加でお配りする予定にはしております。

以上です。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

6番、加藤議員。

○6番（加藤修三） これは265ページの議会費の中の議会中継システムということで資料がありますが、この中で2階会議室、中央公民館、海岸公民館、陽だまりで視聴できるように整備すると

ありますが、これらについては最初視聴をするときにはやっぱり相当映る、映らないとかいろいろあると思うんですけども、そういう中でやはり今地域おこし協力隊の坂東さんはユーチューブで発信したりいろいろしていますので、これらをしっかり放映できる、みんなが見れるような体制を取るには彼らにも協力願うということも必要じゃないかと思うんですが、将来的にはやっぱり、彼はやっていますから、すごくそういう面でたけているから、そうやってみんな早く立ち上げるという考えがあるのかどうかお聞かせください。

○議長（仙海直樹） 総務課長。

○総務課長（河野照郎） 議会中継でございます。ここの記載のとおり3月には正式に運用したいということでございまして、その前に今ほどご指摘のようなことも含めまして議会の皆様とご相談して、町民の皆様にもご案内させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

4番、高橋議員。

○4番（高橋速円） 1つプレミアム商品券のことで、資料の9ページに事業内容、1万円を1冊5,000円で販売と、これはいいんですけど、一応検討される時、前回、去年ですか、プレミアムに関することで基本的なお金をなかなか、賄うことができなかったということでいろいろな方々がおられたという、そういうことでいうと、5,000円なのか、あるいはもっと踏み込んで3,000円とか、それは事務方のほうが大変ですけども、要はこのプレミアムの本来の目的は、いろいろな場面を想定すると、こういうときはもっと下げたほうがいいのかというふうなことなんです。ただ、事務量は増えるんですけど。その辺は考慮したのかしないのか、その1点だけお聞きします。

○議長（仙海直樹） 産業観光課長。

○産業観光課長（大矢正人） プレミアム商品券の販売に対する前回の反省を踏まえてということなんですけども、これを計画した段階で町長から非課税世帯等に少し配慮が必要ではないかというお話もいただきました。前回に関しましては、非課税世帯をターゲットにしたプレミアム商品券ということで、一般の方はなかなか買えなかったということで、販売が伸びなかったというようなことがありました。4月からいろいろな形でコロナ対策でそういう弱者の方々に対する支援もずっとやってきました。その辺を踏まえまして、今回のものにつきましては全員の町民の方が買えるプレミアム商品券ということで、今回はその辺は一つ置いておいて、全員の方々にくまなく買っただけのような形にしていこうということで、最終的に町長とそういうお話し合いになりましたので、今回こういう形にさせていただいた。決してそういう方々を置いていたわけではなくて、一応検討の中では考慮はさせていただいていたということで、その辺はご理解いただければというふうに思っております。

○議長（仙海直樹） 4番、高橋議員。

○4番（高橋速円） もう一つ、3番の特別商品券とありますけども、この特別商品券というのは具

体的に言うとうどういうことになりますか。

○議長（仙海直樹） 産業観光課長。

○産業観光課長（大矢正人） 特別商品券というのは、7月15日から1月15日までの間で現在使用している商品券ということで、これは町民1人当たり5,000円分の商品券を全員にお配りした今現在使っていていただいている商品券のことを示しております。その商品券の500円券とこれから購入していただく商品券の500円券を例えば合わせて1,000円分で品物を購入も可能ですよということで、2番の（3）の両方を併用して使うことができますよということで記載をさせていただいておりますので、ご理解いただければと思います。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

8番、安達議員。

○8番（安達一雄） 確認のためにお聞きしますが、プレミアム商品券の9ページの資料ですが、購入引換券と委任状があればこれは何枚でも引換えできるのか、ちょっとその辺をお聞きさせていただきたいと思います。

○議長（仙海直樹） 産業観光課長。

○産業観光課長（大矢正人） この購入の引換えにつきましてはお一人1冊ということで、例えば家族5人分で一度に購入したいということになれば、それは委任状必要なしという形に判断をさせていただいております。ただ、隣の家のおばあちゃんに足が悪いから買って来てくれないかというようなことをお願いされたら、その方から委任状にサインをいただいて買っていただくというような形のイメージを持っていただければというふうに思っておりますので、1人何冊ということではなく、1人1冊ということで、頼まれればその分も併せて購入ができるということでご理解いただければと思います。

○議長（仙海直樹） 8番、安達議員。

○8番（安達一雄） 今のお話ですと、家族の分も購入できるということですか。

○議長（仙海直樹） 産業観光課長。

○産業観光課長（大矢正人） 家族につきましては、委任状なしで、例えばお父さんなりお母さんが代表して家族全員の分を購入することは可能ということにしております。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

7番、三輪議員。

○7番（三輪 正） 9ページのプレミアム商品券ですが、これは取扱店の名簿を作られると思うんですが、この前もらった名簿は、なかなかあの名簿の中から取扱店を探すのが大変で、あっちに行ったりこっちに行ったりということで、例えば地区別にまとめるとすぐ探せるんですが、多分私はないだろうと思ったらほかのページに載っていたりとかあるので、その辺の工夫をしていただきたいと思います。特にふだんなかなか聞かない店名が結構出てきますので、これってどこなんだろう

ねというふうなのが、これは慣れればいいと思うんですが、特にその辺地区ごとにまとめるとかというふうにしたほうが皆さんは便利ではないかなと思うので、その辺考慮していただきたいです。

○議長（仙海直樹） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（仙海直樹） これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第72号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（仙海直樹） 異議なしと認めます。

したがって、議案第72号は委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（仙海直樹） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第72号を採決します。

この採決は起立によって行います。

議案第72号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○議長（仙海直樹） 起立全員です。

したがって、議案第72号は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（仙海直樹） 以上で本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

令和2年第5回出雲崎町議会臨時会を閉会します。

（午前10時07分）